教育のぼりべつ

令和二年
10月1日
No,27

発行；登別市教育委員会 TEL0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

待ちに待った行事「運動会・体育大会」!!

８月 29 日（土）新型コロナウイルスの感染予防のため延期となっていた幌別東小学校の「運動会」が、市内トップを切って開催されました。例年とは異なり、午前のみの日程ですが、待ちに待った開催となり、新入生も楽しい一日となりました。

今年のスローガン「仲間 ～ 仲間を思い合い、協力しよう　～」





他の小学校の開催日　⇒　９月６日（日）青葉小・１０月３日（土）富岸小
・１０月１０日（土）鷲別小、若草小、幌別小、幌別西小、登別小

８月 25 日（火）室蘭入江陸上競技場で緑陽中学校陸上競技大会が開催されました。芝生スタンドには、多くの保護者が応援に駆け付け、声援を送っていました。

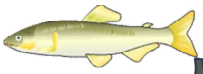


男子１５００M

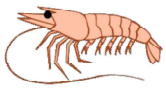


走り幅跳び

他の中学校の開催日　⇒　８月２８日（金）登別中（自校）・１０月５日（月）
鷲別中（入江）・１０月８日（木）西陵中（自校）・１０月１６日（金）幌別中（入江）



登別市地域学校協働本部事業
特別講師を招いて川遊び自然学習



７月１１日（土）に地域学校協働本部実行委員会による「富岸川遊び」が開催され、緑陽中学校区の富岸、青葉小学校の児童ら約４０名が参加しました。今年は、ＮＰＯキウシト湿原・登別の堀本宏さんを講師として迎え、富岸川に住む生物について学習しました。開催１週間前に関係者が周辺の草刈りなどを行い事前に川に石を積み上げて簡易的なダムをつくり、川をせき止めて準備をしてくれました。子どもたちは、網を持って川に入り、一生懸命探して、ヤマベドジョウスジエビなどを捕って観察していました。参加した児童は、楽しい一日を過ごしていました。





「放課後学習サポート」の活動

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防のため、２学期からの開始となり、各地域のコーディネーターさんが中心となって、市内小学校の放課後学習サポートがスタートしました。８月１９日（水）に幌別西小学校で、２１日(金)には、若草小学校でそれぞれ開始され、放課後２時半から 45 分程度、算数の学習に取り組みました。今年度は、幌西小は 10 名、若草小は７名のボランティアさんが登録、参加児童は、幌西小２１名、若草小 25 名でスタートしました。



幌別西小学校の様子



若草小学校の様子

西陵中学校地区　小中合同避難訓練

西陵中学校区では、８月２９日土曜授業で地震と津波を想定した小中学校合同避難訓練が実施されました。午前 10 時に両校で地震発生を想定、グラウンドに避難、その後津波警報が出され高台に避難する行程で実施されました。中学生が幌別西小学校グラウンドに移動し小学生をやさしくサポートして高台に避難しました。



「ふれあい農園」　登別小で収穫祭

８月２９日(土) に登別小学校で「ふれあい農園」の収穫祭が行われました。今年は、新型コロナウイルスの感染予防で学校が５月末まで臨時休業だったため、毎年行っている学校の畑の耕起作業、鹿よけネット張り、そして、種イモ植えも地域ボランティアの皆さんが植えてくれました。何とか最後の収穫祭は、２年生児童が地域ボランティアの皆さんと一緒にジャガイモを収穫しました。その後、地域ボランティアの皆さんが調理したイモもちと蒸かしイモを教室で食べて収穫を祝い、楽しい一日となりました。





登別市重大事案対策委員会で調査・審議を行っています

令和２年６月２２日、市立中学校第１学年に在籍する男子生徒が命を失うという大変悲しいできごとが発生しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

生徒が亡くなられたことは誠に残念であり、教育委員会はその原因をしっかり究明することが責務であると考え、「登別市重大事案対策委員会（教育・法律・精神保健・心理の各分野の専門家やＰＴＡの代表で構成)」に対し、事実関係の調査・検証、背景の解明、再発防止などについて諮問を行いました。

本委員会は、第１回会議を７月２２日(同日に諮問)、第２回会議を８月２４日、第３回会議を９月２８日に開催し、アンケート調査結果や聞き取りなどの資料をもとに協議を進めています。

今後は、月１回のペースで会議を開催し、調査・審議の結果を教育委員会に答申していただく予定です。

登別青嶺高等学校　普通科単位制へ

2019年２月19日登別市と登別市教育委員会は、北海道教育委員会に登別青嶺高等学校への普通科単位制を導入する要望書を提出しました。登別青嶺高等学校は、2018年公表の公立高校配置計画（2019～21年度）で21年度の１学級減が示されていました。要望書では、「登別市にふさわしい魅力ある高校として生徒や保護者の期待に応えるためには、普通科単位制の導入が有効な手立て、市の持続的発展を支える人材の育成に有意義」としていました。

今年度公表の公立高校配置計画案（2021～23年度）では、登別青嶺高等学校の普通科単位制の計画案が発表されました。登別市の希望が叶い、いよいよ2021年４月より普通科単位制のスタートとなります。

普通科単位制の特徴と魅力

一般的な普通科の高校（学年制）は、学年毎に履修する科目が決まっていますが、普通科単位制の高校では、普通科目を中心に自分の進路希望などに応じて、学年を超えて多様な科目を選択することができます。実際にどんな特徴があるのか、取組や魅力をご紹介します。

特徴　～　「単位制」は、時代や社会の多様化に合わせて、生徒一人ひとりが目的に応じて、学べるように設置された制度です。学年にこだわらずに自分の興味・関心に応じた科目を選択し、３年間で必要な単位数を取得できれば卒業が認められます。登別青嶺高等学校では、大学進学に対応した選択科目を早い時期から履修して受験準備を有利に進めることができます。また、就職希望者は商業系の科目を選択することができるカリキュラムとなっています。このように、多様な進路希望に対してきめ細かく対応することが可能となりました。





魅力　～

＊普通科目を中心として、多様な選択科目を開設（普通科にはない珍しい授業がある）
＊自由に時間割を組むことができる
＊少人数制授業や習熟度別授業などきめ細やかな指導を実施
＊進路についてきめ細かいサポートやガイダンスが充実
＊文系・理系の転換が比較的しやすい

２・３年次で多くの選択科目　⇒　自分に合った科目で、夢を実現
選択科目「じもと学」　⇒　登別・室蘭・白老の郷土に学ぶ





